

2012春闘、会社からほとんど進展の無い回答！**団交報告**

2012年8月30日、14:30より第3貨物ビル2階大会議室において団交が開かれました。会社側出席者は田中人事部長、マーチンMD、中島氏でした。冒頭、新体制となった第24期組合執行部と会社側出席者の自己紹介から始まり、次に田中人事部長から2012年度の春闘組合要求に対して回答がありました。

■2012年春闘要求 会社回答サラーインクリース1.3%！

1. 賃金に関する要求（健康保険の値上がり分を補うものとしベースアップ2,000円、住宅・家族・年功手当を元の制度に戻すこと等。）
回答：ベースアップの要求には応じられませんが、検討した結果、会社は平均1.3%のサラーインクリースを実施します。住宅・家族・年功手当については、現行制度を変更する予定はありません。また、年間一時金要求に関しては昨年同様パフォーマンスボーナス制度を本年も実施する予定ですので応じられません。
2. 諸手当に関する要求（屋外作業・夜勤・通勤・祭日出勤・危険物取扱・国内外の出勤大型トラック手当の導入）
回答：すべて応じられません。
3. 定期昇給制度の要求（公平で透明性のある定期昇給制度を作り、組合員に対し明示すること。またペイスケールを上方修正すること。）
回答：現行の昇給制度を変更する予定はありません。
4. 適正な人員配置、福利厚生、定年退職に関する要求
回答：会社は常に仕事量、仕事内容、生産性、経営状態等の様々な要因を鑑み適正な人員を配置することとします。社会保険負担率の変更に関する要求には応じられません。定年年齢を変更する予定はありません。また、退職金は現行の制度を継続いたします。
7. 組合に関する要求（組合事務所・掲示板の貸与、組合活動に対するピープルマニュアルの適用除外、会社の業務に支障のない限り組合活動のための会議室・食堂等の無償貸与）
回答：現在認められている施設・設備の貸与以外は応じられません。ピープルマニュアルの適用除外についても応じられません。会社は業務に支障のない限り春闘要求事項（年3回）および組合総会開催に限り施設を無償貸与するものとします。その際、組合は事前に会社に対し貸与の許可を求めるものとします。

前年度までとほとんど進展の見られない会社側回答のため、組会側は今回の団交中にこれらに対し即答することを避け、次回団交まで返答を保留することとしました。

春闘以外の議題では前回団交で会社側からK I Xのフライトオペレーションで夜勤と日勤のローテーションを行いたいが、就業規則28条3項の規定が障害となっている。これに関し組合の意見を聞かせてほしいと要請がありましたが、これについても関空の当事者とまだ話し合いをしていないため保留としました。また、組合側はPPTが介護や育児に一段落つきフルタイムへの復帰を求める場合が考えられ、オープンポジションを介さず優先的にフルタイムに移行出来る制度を求めましたが、会社側は頻繁にオープンポジションを出しており実際にフルタイムに戻ったケースもあるため、現行のままで特に問題はないと考えているとの回答でした。

この他に組合側からは精神的な病を患って休職する社員が増えていると見受けられ、その人達の復職について会社は柔軟に対応して欲しいと伝えました。これに対し会社側もこの問題についてたいへん深刻に受け止めているが、現在のところ復職については個別対応となっている。カウンセラーや産業医が各職場へ訪問している回数を調査し必要に応じ回数を増やすこと、訪問する際は事前にわかりやすく連絡する等の対応をして行きたいとの回答がありました。健康面についてはこの他に会社側は40歳以上の社員に対し、人間ドックの費用を10,000円補助すること検討しているとのことでした。

新しく就任したマーチンMDからはK I Xのハブ建設について説明がありました。今のところK I Xのハブが完成してもNRTのフライトやスロットプロテクションを減らす予定はないこと、関空のターミナルからハブ建設予定地へは循環バスが運行され通勤の便はたいへん良いこと、諸々の契約はそろそろ終わってきているがベンダー業務等の契約はこれからであること、整備に関しては他のエアラインのハンガーを借りる構想があること、またハイヤリングについては長期のトレーニングが必要なため早急に進めていきたい等の話がありました。

10月19日(金)日韓労働組合交流会 ソウル市内にて開催！**参加を希望される方は執行部にご連絡ください**